

型名	NRS20115
----	----------

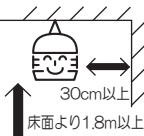
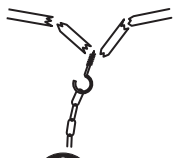
このたびは電撃殺虫器インセクト・キールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前に、電撃殺虫器を正しく安全にご使用いただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
 【取扱説明書・本体表示ラベルには、人身事故や物的損害を未然に防ぎ、本品を安全にご使用いただくために、重要な内容を記載しています】

安全のため必ずお守りください

【器具の施工は電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご依頼ください】

工事店様へ **施工上のご注意** 【工事が終わりましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください】

⚠ 警告 【誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの事故に結びつく可能性のあるものを示しています】

<p>■地上・床面上から1.8m以上の高さに取り付けてください。また、樹木・工作物から30cm以上離してください。 ⇒変質・変色・火災の原因となります。</p> <div style="text-align: center;">  <p>30cm以上 床面より1.8m以上</p> </div> <p>❗ 電気設備技術基準</p>	<p>■器具の取り付けは、器具重量の耐える所に「器具の取り付けかた」に従って、行ってください。また、決められた取り付けかた以外は、絶対にしないでください。床や台などに置いて使用しないでください。 ⇒落下・感電・火災の原因となります。 器具重量：5kg</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>❗ 取り付け</p>
<p>■電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。 ⇒発熱・火災の原因となります。</p> <p>❗ 電源プラグ接続</p>	<p>■この器具は屋内専用です。軒下等風がふく場所には取り付けしないでください。⇒落下の原因となります。</p> <p>❗ 風</p>
<p>■【D種接地工事】アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。 ⇒感電の原因となります。</p> <p>⚡ アース工事</p>	<p>■器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。⇒落下・感電・火災の原因となります。</p> <p>❗ 改造</p>
<p>■容易に開閉できる場所に、必ず専用の開閉器を設けてください。</p> <p>❗ 電気設備技術基準</p>	<p>■爆発物・揮発性引火物のある場所には、取り付けしないでください。⇒爆発・火災の原因となります。</p> <p>🔥 引火物</p>
<p>■振動の激しい場所には取り付けしないでください。 ⇒落下の原因となります。</p> <p>❗ 振動</p>	<p>■腐食性ガスの雰囲気がある場所には、取り付けしないでください。⇒変質・変色・絶縁不良・落下の原因となります。</p> <p>❗ 腐食性ガス</p>

⚠ 注意 【誤った取り扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるものを示しています】

<p>■この器具は屋内専用で周囲温度が5℃～35℃の範囲でご使用ください。また、湯気や湿気の多い場所や、屋外軒下等の雨や水のかかる場所には取り付けしないでください。⇒絶縁不良・感電の原因となります。</p> <p>❗ 温度屋外</p>	<p>■この器具の定格電圧は100V±6%です。電源電圧は、器具を取り付ける前にご確認ください。 ⇒ランプ・安定器の寿命が短くなったり、火災の原因となります。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100V 確認</div> <p>❗ 定格電圧以外</p> </div>
---	---

お客様へ **使用上のご注意** 【いつでもご覧になれるところに、大切に保管してください】

⚠ 警告 【誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの事故に結びつく可能性のあるものを示しています】

<p>■殺虫剤・スプレー等、引火物の噴霧はしないでください。 ⇒爆発・火災の原因となります。</p> <p>🔥 引火物</p>	<p>■虫受トレイに虫がたまりましたら、電源を切り虫受トレイを外して虫を捨ててください。 ⇒火災の原因となります。</p> <p>❗ 虫受トレイ</p>
<p>■金属棒等で電撃格子を絶対にさわらないでください。また器具のすきま・穴等に金属物を差し込まないでください。⇒感電・火災・故障の原因となります。</p> <p>❗ 金属物の差し込み</p>	<p>■虫受トレイに薬剤・水等を入れないでください。 ⇒火災・サビの原因となります。</p> <p>❗ 薬剤水</p>
<p>■ランプや器具を布・紙等の可燃物で覆ったり、かぶせたり、燃えやすい物を近づけないでください。 ⇒火災の原因となります。</p> <p>🔥 可燃物</p>	<p>■捕虫リボンといっしょに使用しないでください。 ⇒火災の原因となります。</p> <p>❗ 捕虫リボン</p>
<p>■器具に飛びついたり、揺らしたりしないでください。 ⇒器具の落下・ケガの原因となります。</p> <p>❗ 振動</p>	<p>■ランプ等の部品類の交換やお手入れは、電源を切ってから行ってください。⇒感電の原因となります。</p> <p>⚡ 必ず電源を切る</p>
	<p>■ランプ交換の際は、本体表示および取扱説明書通りのランプをご使用ください。⇒過熱により器具の変色・変形・火災の原因となります。</p> <p>❗ 専用ランプ</p>

⚠ お願い

■雷が近づいているときは、専用開閉器を切ってください。⇒故障の原因となります。

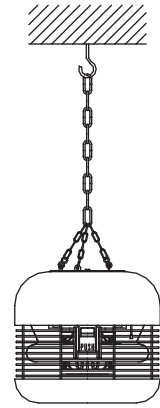
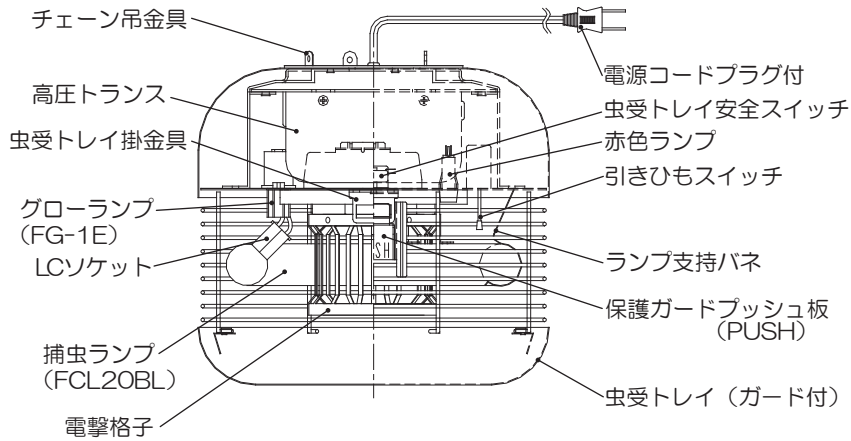
⚡ 必ず電源を切る

■この器具には安全装置がついております。虫受トレイを外しますと、安全装置により、電源が切れるようになっております。⇒電源が切れても故障ではありません。正しい状態に戻しますと、自動的に電源が入ります。

【シンボルマークのご説明】

❗ 必ず行う事項	⚡ 必ず電源を切る	⚡ 必ずアース線の接続を行う	❗ 一般的な禁止事項	❗ 改造・分解の禁止	🔥 発火注意	❗ 一般的な注意事項
----------	-----------	----------------	------------	------------	--------	------------

各部のなまえ



取り付け形態

付属部品

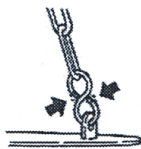


器具の取り付けかた

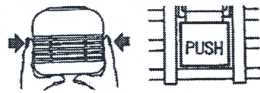
①天井に（器具重量の耐える所）付属品のヒル釘をしっかりねじ込んでください。取り付けが不完全な場合は落下の原因となります。



②本体上部のチェーン吊金具に付属品のSカンとチェーンを取り付け、本体を吊り下げてください。
※チェーンを取り付けましたらねじれないか確認し、Sカンの開いている部分をペンチ等で閉じ、チェーンの外れ止めをしてください。



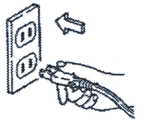
③保護ガードのPUSH板を本体の虫受トレイ掛金具に合わせ、虫受トレイ（ガード付）を本体に取り付けてください。
※取り付けが不完全ですと、落下の原因にもなりますので確実に取り付けてください。



器具の取り扱いかた

①専用開閉器を入（ON）にしてください。

②コンセントに電源プラグを差し込んでください。
※電源プラグはいつもきちんとコンセントに差し込んだ状態でご使用ください。
※専用のコンセントをお使いください。
『たこ足配線』等はおやめください。



③引きひもスイッチを引いてください。赤色ランプと捕虫ランプが点灯し、電撃格子に高電圧が流れます。



④ご使用が終わりましたら③②①の逆の順でスイッチを切ってください。
※ランプ交換の際は必ず捕虫ランプをご使用ください。一般の蛍光ランプには誘虫効果はありません。尚、殺菌用ランプのご使用は絶対にしないでください。部品の劣化や、人体に影響を及ぼす恐れがあります。

お手入れのしかた 【必ず電源を切ってください】

■ランプや碍子、電撃格子に塵埃・虫が付着しますと、殺虫器本来の性能が低下します。乾いた布で清掃してください。

■器具のよごれは、乾いたやわらかい布、または水・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞り清掃してください。

※清掃時に、ガソリン・シンナー等の薬品は絶対に使用しないでください。
⇒変色・変形・火災の原因となります。



■器具の水洗いは絶対にしないでください。
⇒感電・故障の原因となります。



■ソケットの樹脂部には、水・洗剤・薬品等は使用しないでください。⇒部品の劣化・感電の原因となります。



器具について

■器具には寿命があります。設置後10年たちますと、外観に異常がなくても、内部部品等の劣化は進行しています。器具の点検、または交換をしてください。

この器具の寿命の目安は、1日10時間使用で約10年です。

■捕虫ランプの寿命（近紫外光が出力される時間）は5,000時間です。ランプが点灯していても寿命を過ぎたランプからは、捕虫に有効な近紫外光が出力されなくなり、捕虫効果が低下します。一般的なご使用の場合1～2年での交換をお勧めします。また、グローランプはランプ交換3回に一度の割合で交換してください。

修理のお願い

■定期的に工事店等の専門家による、点検を行ってください。

■ご使用中に異常が生じたときは、ご使用になるのをやめ、電源プラグを抜き、販売店・工事店にご相談ください。

